

# 神苑の決意

平和と独立を求め  
民衆の「決意」を伝える  
神道ジャーナリズム誌

【本号の内容】（主張）岸田新政権に期待なし 政権交代を 広島、長崎  
原爆投下七十六年を迎えて 昭和天皇の原爆「やむをえない」発言  
について考える（木川智）：1／【連載】児玉誉士夫を君知るや、  
8（木川智）：12／花瑛塾令和三年八月九月活動報告：14／  
【連載】葦津珍彦と神道ジャーナリズム18（鎌倉佐助）：22／  
編集後記：24

1部 1000円

# 岸田新政権に期待なし 政権交代を

## 神苑の決意 木川智

【主張】 九月二十九日に投票が行なわれた自  
民党総裁選において、前政調会長の岸田文雄が  
新総裁に選出された。今後の流れとしては、党  
役員人事、臨時国会での岸田の首班指名、そし  
て組閣を経て、天皇陛下が岸田を新首相に任命  
する見込みとなっている。

天皇陛下による新首相任命の後は、国会での  
所信表明演説とそれをめぐる代表質問、そして  
衆議院解散、十一月中には総選挙の投票票とい  
うのが大方の見立てである。

岸田新政権は、前首相の安倍晋三、現首相の  
菅義偉の各政権を継承する政権であり、安倍、  
菅政権の「居抜き」政権である。このような政  
権に何一つ期待はできない。そして岸田新政権  
は、安倍、菅政権の継承、「居抜き」政権である  
がゆえに、短命に終わるだろう。ありとあらゆる  
局面において、岸田は安倍、菅、そしてこれ  
に連なる勢力に絡めとられ、独自の判断や決定  
もできず、たちまちに進退窮まり、遠からず立  
ち往生するはずである。

以下、岸田新政権の今後について検討したい  
が、まずその前に菅政権の終焉について総括を  
したい。

### 政治的に「破産」した菅政権

菅は九月三日、自民党臨時役員会において、  
同党総裁選への出馬を見送る事実上の退陣表明  
をし、昨年九月十六日に発足した菅政権が終焉  
を迎えた。